

平成 19 年度 第 1 回 備前市公共交通会議 議事概要

日 時：平成 19 年 8 月 10 日(金) 13 時 31 分～14 時 34 分

場 所：備前市役所 3 階 大会議室

出席者：(敬称略)

(委 員)西岡 憲康、玉垣 和志、山本 健次、大和 史明、村合 英二、
有本 和彦、井上 邦允、三村 渚、宗包 早苗、村上 礼子、
井川 勲(代理人表決委任) 以上 11 名

(専門員)中山 和樹、箕作 一郎、永幡 節夫、和田 章

(事務局)企画課、教育委員会職員 4 名 (申請事項説明者)日生運輸㈱1 名

欠席者：(敬称略)

(委 員)宇野 泰正

傍聴人：なし

議 事

・協議事項

- (1) 路線バス利用実態調査の結果について
- (2) 路線の延長、及び経路変更について
- (3) ダイヤ改正について
- (4) 幹事会の構成と要綱改正について

・合意事項

- 路線の延長・変更 路線延長 1 件、経路変更 2 件

- ダイヤ改正 備前バス路線

平 日：26 便時刻変更、2 便増便、1 便減便

土 曜 日：19 便時刻変更、2 便増便

日曜・休日：15 便時刻変更、2 便増便

市営バス路線

平 日：2 便時刻変更

- 交通会議設置要綱一部改正 1 件、幹事会構成員に関する内規 1 件

【会議要旨】

○ 協議事項

(1) 路線バス利用実態調査の結果について

《事務局からの説明》

- 今年5月～6月に実施した備前バス(株)運行の市内路線バスの利用実態調査の結果を報告
- 平日2日、土曜・日曜各1日の計4日間、市職員と日生運輸(株)職員が当日の路線バス全便に乗車し乗降者数等を調査した。
- 平日2日間の平均は、全便合計で893人。内訳は小中学生が460人、51.5%。一般・高齢者が433人、48.5%。一般・高齢者の1便当たり平均乗車数は5.7人。誰も乗らなかった0人便は2日間平均で10.5便、13%だった。
- 路線別では、寒河線が一番多く全体の約半分を占めた。一般・高齢者の1便平均も10人を超えたのはこの路線のみで他の路線は1桁。
- 土曜日は、合計で224人。内訳は小中学生が6人、2.7%。一般・高齢者が218人、97.3%。一般・高齢者の1便平均は5.7人。0人便は5便、13.2%だった。
- 日曜日は、合計で133人。内訳は小中学生が1人、一般・高齢者が132人。一般・高齢者の1便平均は4.4人。0人便は9便、30%で、八塔寺線で6便中5便、三石線で4便中3便が0人だった。
- 前回、今年1月にも同様の調査を平日2日間実施した。平日2日間の平均は、全便合計で898人。内訳は小中学生が472人、52.6%。一般・高齢者が426人、47.4%。一般・高齢者の1便当たり平均乗車数は5.7人。0人便は8便、10%だった。
- 前回と今回の平日1日当たりの利用者数を比較。利用者数合計は5人減。内訳は、小学生が2人減、中学生が10人減、一般が41.5人減、高齢者が48.5人増だった。

《質問・意見》

委員 三石線は便数が多いように思う。調査結果では利用者数も少なく、便数を減らすということは考えられないか。吉永線も特に土日については利用者が少なく、こちらについても同様のことが言えると思う。

事務局 地元からの要望もあり減便については慎重に対応したい。

日生運輸 スクール利用の関係や、往復便で片道が少なかったという場合もある。少ないからといってすぐになくしてしまうことは問題があると思うが、極端に少ない場合は対策を考える必要がある。利用についてのPRも必要だと思う。

委員 一人二人の要望に応えることがいいことかどうか。無駄遣いのようにも思える。地域の人の意見をよく聴いてそれを組み入れ、有効な運行の仕方を考えてほしい。

委員 市から多額の補助が出ている。運行についてはうまくやりくりする必要がある。地域によっては、デマンドタクシーの導入という方法もある。

日生運輸 少人数の要望に応えることは費用対効果を考えると問題があるかもしれない。地域の方の意見を取り入れることについても、通勤・通学・病院と朝夕の時刻にバス運行が偏ることが多く、すべての要望に応えるのは大変難しい。

(2) 路線の延長、及び経路変更について

《事務局からの説明》

- 吉永病院～八塔寺間の八塔寺線で、終着バス停を約300m先の国際交流ヴィラ前まで延長してほしい旨の要望書が八塔寺地区から市長に提出された。
- 吉永病院～福石間の福石線で、土師神根地区での県道通過ルートを変更し、民家のある

地区内市道に乗り入れてほしい旨の要望書が地区から市長に提出された。

- 吉永病院～片上間の吉永線で、閑谷学校バス停を閑谷学校駐車場に移し、安全確保を図る。

《日生運輸㈱からの説明》

- 八塔寺線の終着バス停は「八塔寺」。地元要望に応え八塔寺地区内の国際交流ヴィラ前の民族資料館のところまで延長する。県道多麻・滝宮線を通るが、幅員も十分で整備状況も問題なく、地域協力もあり運行に支障はない。10月1日の運行開始を目指す。
- 福石線の土師神根地区。現在は主要地方道岡山・赤穂線を通っている。これを土師神根地区内の市道を通るコースに変更しフリー乗降とする。一部道幅が狭いところもあるが、地区住民の方々の協力もあり運行上特に問題なく10月1日の運行開始を目指す。
- 吉永線、県道穂浪・吉永停車場線を通っている。閑谷学校のバス停はカーブの内側に位置し横断の際見通しが悪く危険。バス停を閑谷学校の駐車場の入口付近に移動し、上下線ともバス停まで市道にバスを乗り入れ安全性を確保する。市道は道幅広く運行上特に支障はない。10月1日の運行開始を目指す。

《質問・意見》

なし

(3) ダイヤ改正について

《事務局からの説明》

- バス運行について日頃より利用者等からいろいろな要望が出ている。実態調査等では、利用者の生の声を聞くことができ、要望に応えることでより便利なバスとなるよう努めている。
- 今回のダイヤ改正は、要望の中から安全性、緊急性、必要性、経費対効果を考慮しながら可能なものから実施するという考えで日生運輸㈱が改正案を作成。
- 便数増や、始発便を早める・最終便を遅らす等直接経費の増加につながるものについては改正が難しい。主に他の公共交通機関との接続や、時間帯による道路状況に合わせた運行となるような改正となった。
- 利用者の極端に少ない便について減便の方向で考えていくが、今しばらく経過を見て実態調査を実施したうえで判断していく。

《日生運輸㈱からの説明》

- 全体では、平日 81 便中 29 便を主に運行時刻について改正。2 便増便・1 便減便で、改正後は 82 便。土曜日は、38 便中 21 便を改正。2 便増便で改正後は 40 便。日曜日は、30 便中 17 便を改正。2 便増便で改正後は 32 便。
- 路線別では、福石線は改正がない。
- 八塔寺線では、終着駅を延長した関係で改正。土曜・休日は、休日に市民や観光客等が八塔寺まで行って帰れる便を作るという要請に応え、全便を再編成。
- 吉永線は、土曜・休日は増便。片上方面から八塔寺線へ乗り継ぐ便を増やした。
- 三石線は、平日が 2 便増の改正。通学利便のため伊里中・片上間で増便。
- その他、他の交通機関との乗継調整や、道路状況に併せた運行時間の調整をした。
- 以下、路線別に個々の便の改正内容を説明。(詳細省略)

《市からの説明》

- 市営バスの和意谷線。吉永中学校の下校時間に合わせダイヤを変更。

《質問・意見》

日生運輸 増便しているものもあるが、運行時間の空きを有効利用するなどしており、極力経費増にならないようにしている。

委 員 改正には、できるだけ多くの要望を取り入れたということなので、前よりよくなるものと思われる。ダイヤ改正についてではないが、時刻表の字が小さいのでなるべく大きくしてほしい。

(4) 幹事会の構成と要綱改正について

《事務局からの説明》

- 幹事会構成員の選任について内規により定める。要綱第3条2項に定める委員の区分から1名ずつ選任するものとする。
- 幹事会に関する交通会議設置要綱の一部改正する。幹事会で審査できる事項について、運行回数や運行時刻の変更以外にも軽微な変更ができるよう改正する。

《質問・意見》

専門員 軽微な変更が幹事会でできるようになるが、基本は会議で審議するという事なので何でもかんでも幹事会で済ますということのないよう注意してほしい。

事務局 事前に専門員の方に相談するなど、会議の趣旨に沿った運用とするよう留意します。

(その他)

委 員 昨年の会議で、吉永の市営バスの料金について協議し、会議では承認された。その後その件が議会で否決されたというように聞いた。この会議の権威が問われるものだと思うがどうしてそのようなことになったのか。

事務局 委員会では地域格差が生じること等について反対の意見があり、その場で理解が得られなかった経緯があります。事前の説明不足等もありこのようなことになりましたが、本会議では可決されています。

日生運輸 公共交通の空白地域について、何らかの新しい方策を検討している。現在のバス路線は、主要な道路を通っているが、例えば寒河地区の国道の北や南の地域ではバス停までが遠いというような声を聴いている。

このような地域に小型のバスを走らせることを考えている。費用についても自社でやりくりし、これ以上市の補助金も無理だと思うので、その範囲内でやっていこうと考えている。いずれ、この会議にも諮りたいと考えている。

委 員 特に高齢者の要望を十分に取り入れる方向で検討していただきたい。

委 員 日生以外の地域についても検討する必要があるが、検討の際は地元事業者とも十分に相談をしてもらいたい。